

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

学校名【 広島県立 安西高等学校 】

1 実践テーマ	【 I, V 】
2 実施対象者	全学年生徒（583名）
3 展開の形式	（ ）教科で実施 教科名（ ） （○）教科以外で実施 （ 総合的な学習の時間 ）
4 目標（ねらい）	オリンピックの意義や価値・経験談などをオリンピックから直接聞く体験を通して、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、生徒のスポーツに対する学びを深める。
5 取組内容	オリンピックによる講演会 「夢を実現するために」 講師 佐伯 美香（さいき みか）氏 （元全日本バレーボール選手・元ビーチバリアー）
6 主な成果	オリンピックの経験談を直接聞く体験を通して、オリンピックやスポーツに対する理解や興味・関心が深まった。 質疑応答の場面で、生徒からの自発的なたくさんの質問が出てきた。日頃の部活動と関連付けて、夢を実現するためにはどんなことが必要であるかについて考える、学びの場を提供することができた。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	講師プロフィール資料（プリント）を、朝SHR時、各クラスで生徒に配布し、しっかり読んで理解しておくことを行った。 講演後、各HR教室に戻り、事後アンケートを記入し、講演の振り返りを行った。
8 主な課題等	講演会自体は大変効果的であったが、その効果が一過性のものにならないように、教科・総合的な学習の時間・LHR・部活動等と関連付けて、連続する取組にする工夫が必要である。
9 来年度以降の実践予定	来年度もオリンピックによる講演会の実施が可能であれば、次回は、講演にプラスして、オリンピックといっしょに実技を体感できる場面設定があれば、生徒もよりオリンピックのすごさが言葉とともに実感でき、部活動等と連動した取組になると考える。